

北海道支局

SAPPORO

〒060-0807
札幌市北区北七条西4丁目8-3
北口ヨシヤビル9階
TEL (011) 756-1321 FAX (011) 756-1322

北日本ネットワーク

北海道・東北

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

東北支局

SENDAI

〒980-0804
仙台市青葉区大町1丁目1番8号
第3青葉ビル5階
TEL (022) 223-9032 FAX (022) 211-6860

クロダリサイクル

金銀滓の回収強化

自治体の資源化率向上

エフビグループで北海道の大手総合サイクル企業クロダリサイクル本社（函館市、奈良浩一社長）はこのほど、グループ内で3機目となる金銀滓の回収プラントを稼働させた。自治体の焼却炉から排出される落じん灰や自動車破砕残渣などからこれまで回収が難しかった金、銀などの貴金属を回収し、資源化する。自治体にとって資源化率が向上するなどのメリットがあり、環境負荷の軽減につながる取り組みとして注目を集めている。

落じん灰は焼却炉で、おり、同グループのエンジニアが燃やした後に排出される焼却灰を取り出す過程の中で排出され、その多くはセメント原料や埋め立てなどに用いられ、処分されている。焼却灰の中でも貴金属の含有率が高いといわれており、同グループのエンジニアは、このほかに、グループ内で3機目となる金銀滓の回収プラントを稼働させた。自治体の焼却炉から排出される落じん灰や自動車破砕残渣などからこれまで回収が難しかった金、銀などの貴金属を回収し、資源化する。自治体にとって資源化率が向上するなどのメリットがあり、環境負荷の軽減につながる取り組みとして注目を集めている。

て回収している。金、銀、パラジウム、コバルトなどのレアメタルや、鉄、アルミなどのベースメタルまで回収が可能で、選別されたレアメタルは非鉄精錬会社へ売却する。



稼働した自社仕様の金銀滓回収プラント

自治体のメリットは、資源化率の向上のほか、収支改善もある。最終処分の際、セメント原料への資源化は処理料が発生するが、落じん灰の有償買取システムの場合は買取料を受け取ることができ、処分するべき焼却灰の総量を減少させることになり、年間の処分料の支払いが削減する。また、環境省によれば最終処分場の残余年数はおよそ20年といわれるが、延命化が期待でき、今後も各自治体に対してメリットや具体的なケースを紹介しながら、広域に展開していくことで、さらなる金属回収、資源化を目指す。

改修し、自社仕様のプラントを設置した。前工程は、磁力選別機で鉄を取り除き、さらに機で大きさを粒度を整え、破砕機で破碎、剥離を行い、風力選別機で軽いものを吸い上げ、各工程を3回程度循環して選別を行う。後工程で、サイジングスクリーン（ふるい機）により細かく複数の粒度に分ける。最後に乾式比重選別機で比重の大小の選別を行い、同プラントではサイジング工程を3回程度

おり、同グループのエンジニアは、このほかに、グループ内で3機目となる金銀滓の回収プラントを稼働させた。自治体の焼却炉から排出される落じん灰や自動車破砕残渣などからこれまで回収が難しかった金、銀などの貴金属を回収し、資源化する。自治体にとって資源化率が向上するなどのメリットがあり、環境負荷の軽減につながる取り組みとして注目を集めている。

おり、同グループのエンジニアは、このほかに、グループ内で3機目となる金銀滓の回収プラントを稼働させた。自治体の焼却炉から排出される落じん灰や自動車破砕残渣などからこれまで回収が難しかった金、銀などの貴金属を回収し、資源化する。自治体にとって資源化率が向上するなどのメリットがあり、環境負荷の軽減につながる取り組みとして注目を集めている。